

関係諸団体との積極的な連携によって 交通事故の低減に貢献

安全運転の普及活動を行う関係諸団体の方々とも積極的に連携を深め、交通事故の低減に向けて取り組んでいます。

教習指導員のレベルアップと交流の場を提供

全国の自動車教習所教習指導員の皆様の自己研鑽への動機づけや交流の場を提供することを目的として、2001年に始まった「全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」(後援:(一社)全日本指定自動車教習所協会連合会、本田技研工業(株)法人営業部)は今年15回目を迎えました。会場となった鈴鹿サーキット交通教育センターで、全国73校131名の教習指導員の皆様が2日間にわたり競技に取り組みました。この大会には、全国19校20名の教習指導員の皆様に審判員としてもご協力いただいています。



第15回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での四輪競技

二輪車関連団体などの活動への積極的な協力

(一財)全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会が主催する「二輪車安全運転全国大会」での審判業務や、1969年より警察庁が開催している「全国白バイ安全運転競技大会」でも審判業務などに協力しています。また、(一社)日本二輪車普及安全協会が実施する安全運転活動への各種協力や、(一社)日本自動車工業会が推進する高校生原付通学者や高齢ライダーへの安全運転指導などにも協力しています。



第15回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会での二輪競技



第46回全国白バイ安全運転競技大会の審判業務などに協力



第48回二輪車安全運転全国大会の審判業務などに協力